

	安城更生病院	八千代病院	松井整形外科	訪問看護	薬剤師会	リハネット部会	施設部会	包括	ケアマネット部会
開催回数	1	2	1	2	3	1	3	1	1
参加人数	27	34	5	30	98	19	26	16	44
配布数	50	13	5	16	19	24	26	8	23
コメント	看護職代表者会議にて説明。 必要時閲覧できる体制として、 <u>院内イントラネット掲示板に入退院連携の手引きを掲載</u> してはどうかとの提案を頂き、現在登録にむけて準備中。	1 回目は看護課長かいにて配布前に概要を説明。2 回目に冊子を配布 特に意見・質問など無し。	全体的な流れについて理解できた。年々、介護度の高い方が増えてきて、自宅退院へのハードルが高くなり、入院が長引き家族の受け入れも悪くなっている傾向がある。介護サービスについての知識不足もありそれもスムーズな退院に繋がらない要因になっている。 <u>介護度の高い事例等の紹介が手引きにあるとより分かりやすいと思う。</u> 住まい部会にサービス付き高齢者向け住宅が含まれていないので、含んで頂けるとスムーズな連携となると考えられる。 多職種連携はエチケットから。こころくばり（思いやり、歩み寄り、対話から）がグッとくるフレーズでした。自分たちの所属側から見えない相手の立場を考えて行動しないと連携がうまくできないことを再確認した。	5分程度でマニュアルを参考に説明した。特に質問はなかった。 2 回目も重点項目のみ再度説明したが特に質問なし。	安城更生病院薬剤部にて、安城更生病院薬剤部長他1 名、および八千代病院薬剤部長の計3 名に対し作成の経緯と情報提供書について説明。情報提供書は薬歴などへの記録・保存しやすいデフォルトで備iえてある書式にしたことを説明。病院側からは入院に際しては薬局が情報入手しにくい現状を踏まえ、 <u>各病院の入院支援室の薬剤師が必要と認めたケースについて、かかりつけ薬局に情報提供を求めることから開始すること</u> <u>で意見が一致。</u> そのための（入院前の患者の服薬情報提供に係る情報提供書を利用しやすいかたちでの）情報提供依頼書の原案を安城更生病院薬剤部で作成し、 <u>協議の上運用していくこととなった。</u> 安城市薬剤師会理事会で入退院連携の手引き作成の経緯と使用する情報提供書について説明。また5月31日の両病院との協議の経過を説明し、安城更生病院作成の情報提供依頼書について意見を求める。 安城市薬剤師会理事会で入退院連携の手引き作成の経緯と使用する情報提供書について説明。また5月31日の両病院との協議の経過を説明し、安城更生病院作成の情報提供依頼書を周知し、要請があった場合は的確に情報提供を行うように依頼した。 周知は7月下旬の薬剤師会例会にて行った。八千代病院薬剤部も更生病院薬剤部作成の情報提供依頼書に準拠した文書を作成することになっている。今後は毎月月上旬にZOOM開催されている安城更生病院、八千代病院、薬剤師会会員薬局の心不全に関する情報交換会でも運用の検証を行う予定である。	良いものが完成したので各事業所で活用していきましょう。エチケットなどは新人研修などで活用できそう。	【小規模多機能部会】 他職種の動きについてケアマネ・施設の役割を兼ねている内容を説明。 【施設部会】 ショートステイ利用中の方の入退院を想定して説明。 【グループホーム部会】 サルビー見守りネットの利用が浸透していないので課題があると感じた。	w e b 開催の包括ネットにて説明会実施した。 w e b のため、説明に対する参加者の反応が分かりづらかったが、特に質問等はなかった。シナリオのおかげで、説明がしやすかった。	特になし